景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点　平成28年12月1日発送
　　平成28年12月12日投函期限
調査対象　信用保証利用先1,500企業
有効回答数　337 企業（回答率　22.5% ）

※ 当期：H28年10月～12月実績見込
次期：H29年1月～3月期予測

【DI値について】

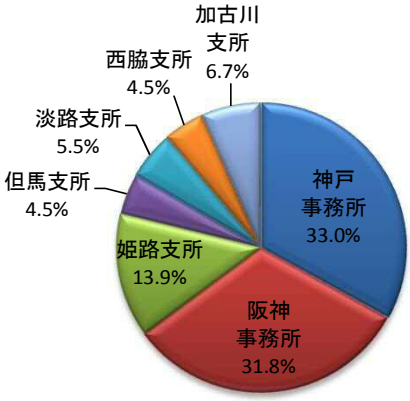
◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

Ⅰ．貴社の概要について

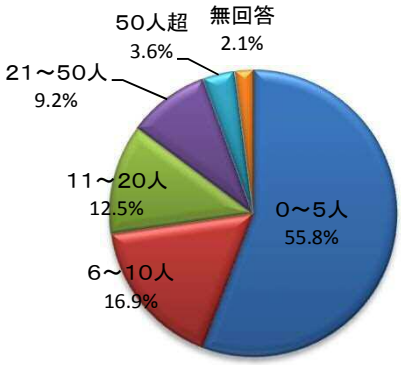
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	109	33.0%
阪神事務所	105	31.8%
姫路支所	46	13.9%
但馬支所	15	4.5%
淡路支所	18	5.5%
西脇支所	15	4.5%
加古川支所	22	6.7%
小計	330	100.0%
地域不明・無回答	7	－
合計	337	－



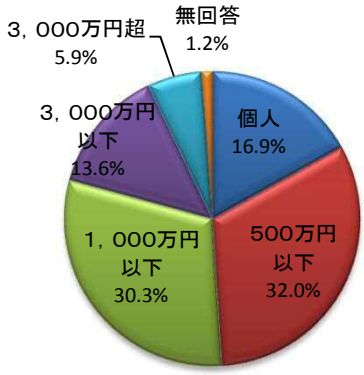
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	188	55.8%
6～10人	57	16.9%
11～20人	42	12.5%
21～50人	31	9.2%
50人超	12	3.6%
無回答	7	2.1%
合計	337	100.0%



資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

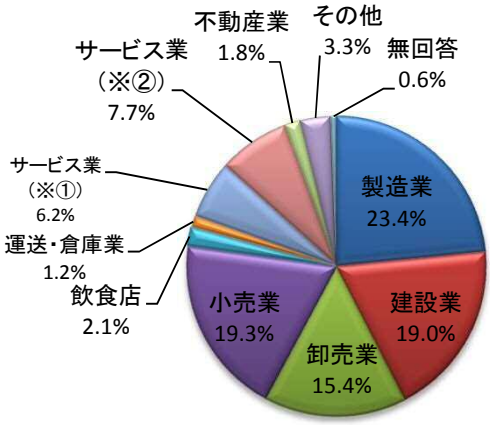
資本金	回答数	構成比
個人	57	16.9%
500万円以下	108	32.0%
1，000万円以下	102	30.3%
3，000万円以下	46	13.6%
3，000万円超	20	5.9%
無回答	4	1.2%
総計	337	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	79	23.4%
建設業	64	19.0%
卸売業	52	15.4%
小売業	65	19.3%
飲食店	7	2.1%
運送・倉庫業	4	1.2%
サービス業（※①）	21	6.2%
サービス業（※②）	26	7.7%
不動産業	6	1.8%
その他	11	3.3%
無回答	2	0.6%
合計	337	100.0%

※① 事業者を対象
※② 一般消費者を対象



Ⅱ．貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

（1）当期（16年10～12月期）は、前期（16年7～9月期）に比べどのような状況ですか。
（2）次期（17年1～3月期）は、当期（16年10～12月期）に比べどう思いますか。

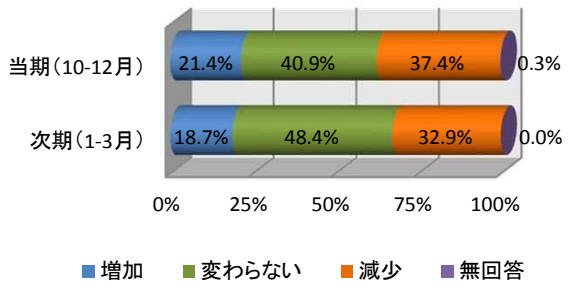
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	72	21.4%
変わらない	138	40.9%
減少した	126	37.4%
無回答	1	0.3%
総計	337	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	63	18.7%
変わらないと思う	163	48.4%
減少すると思う	111	32.9%
無回答	0	0.0%
総計	337	100.0%



生産・売上DI（増加－減少）

調査時期（実績）	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月	2016年7～9月	2016年10～12月	2017年1～3月（見込み）
兵庫県	▲ 8.7	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.2	▲ 2.1	▲ 22.1	▲ 19.9	▲ 14.2	▲ 16.0	▲ 14.2

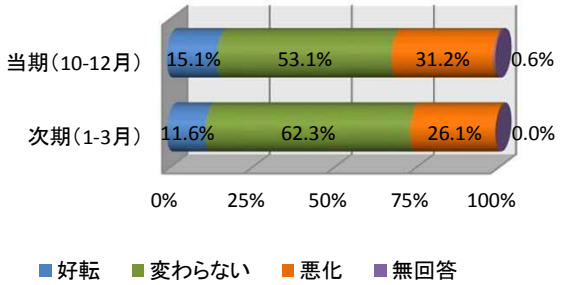
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	51	15.1%
変わらない	179	53.1%
悪化した	105	31.2%
無回答	2	0.6%
総計	337	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	39	11.6%
変わらないと思う	210	62.3%
悪化すると思う	88	26.1%
無回答	0	0.0%
総計	337	100.0%



採算DI（好転－悪化）

調査時期（実績）	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月	2016年7～9月	2016年10～12月	2017年1～3月（見込み）
兵庫県	▲ 18.0	▲ 24.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 15.2	▲ 23.0	▲ 22.7	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 14.5

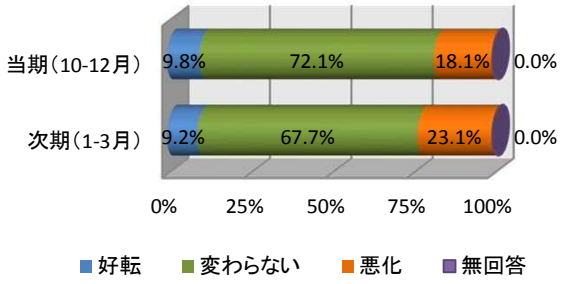
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	33	9.8%
変わらない	243	72.1%
悪化した	61	18.1%
無回答	0	0.0%
総計	337	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	31	9.2%
変わらないと思う	228	67.7%
悪化すると思う	78	23.1%
無回答	0	0.0%
総計	337	100.0%



資金繰りDI（好転－悪化）

調査時期（実績）	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月	2016年7～9月	2016年10～12月	2017年1～3月（見込み）
兵庫県	▲ 15.3	▲ 20.2	▲ 13.5	▲ 15.9	▲ 13.9	▲ 19.2	▲ 16.6	▲ 14.9	▲ 8.3	▲ 13.9

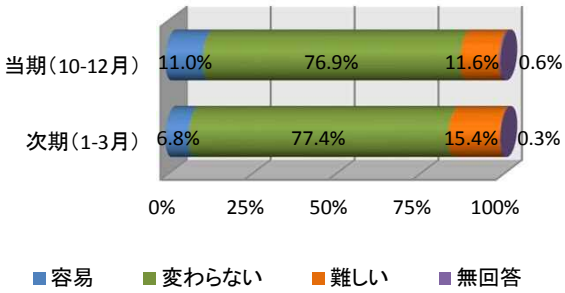
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	37	11.0%
変わらない	259	76.9%
難しくなった	39	11.6%
無回答	2	0.6%
総計	337	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	23	6.8%
変わらないと思う	261	77.4%
難しくなると思う	52	15.4%
無回答	1	0.3%
総計	337	100.0%



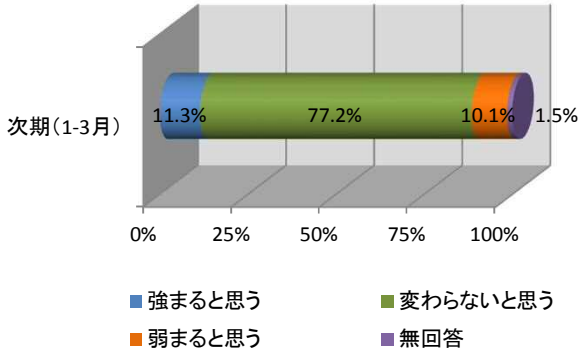
借入難易感DI（容易－難しい）

調査時期（実績）	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月	2016年7～9月	2016年10～12月	2017年1～3月（見込み）
兵庫県	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 7.9	▲ 4.5	▲ 7.3	▲ 4.5	0.0	▲ 0.6	▲ 8.6

当期（10-12月）DI値については、前回（7-9月）に比べ「生産・売上」がやや悪化しましたが、他の各項目は改善もしくは横ばいで推移しており、基調としては緩やかな回復が持続しています。
ただし、次期（1-3月）の見込については、「資金繰り」「借入難易感」の各項目について慎重な見方が伺えます。

【金融機関からの信用保証付要請】
次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	38	11.3%
変わらないと思う	260	77.2%
弱まると思う	34	10.1%
無回答	5	1.5%
総計	337	100.0%



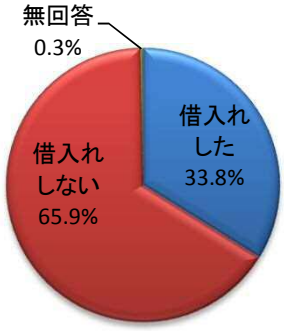
信用保証付要請DI（強まる－弱まる）										
調査時期（見込み）	2014年 7～9月（10～12月）	2014年 10～12月（1～3月）	2015年 1～3月（4～6月）	2015年 4～6月（7～9月）	2015年 7～9月（10～12月）	2015年 10～12月（1～3月）	2016年 1～3月（4～6月）	2016年 4～6月（7～9月）	2016年 7～9月（10～12月）	2016年 10～12月（1～3月）
兵庫県	8.0	3.6	2.3	5.8	3.4	2.4	2.2	5.7	4.4	1.2

金融機関からの信用保証付要請は、引続き「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っていますが、前回調査時に比べDI値は3.2ポイント減少しました。

Ⅲ.当期（16年10～12月期）の借入れ（実績見込）についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

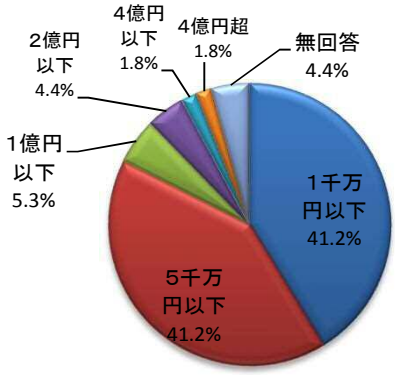
	16年10～12月期		16年7～9月期	16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	114	33.8%	28.2%	24.5%	32.2%	27.3%
借入れしない	222	65.9%	71.8%	74.9%	67.5%	72.1%
無回答	1	0.3%	0.0%	0.6%	0.3%	0.6%
総計	337	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前回調査と比べ、5.6ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

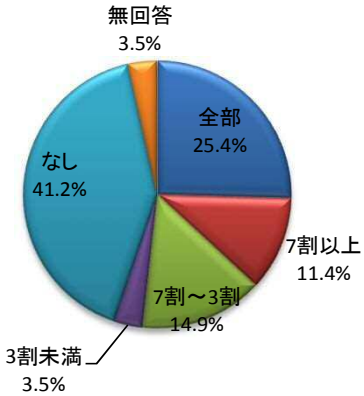
	16年10～12月期		16年7～9月期	16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	47	41.2%	39.3%	42.0%	40.2%	43.3%
5千万円以下	47	41.2%	41.6%	25.9%	40.2%	38.9%
1億円以下	6	5.3%	13.5%	16.0%	8.8%	10.0%
2億円以下	5	4.4%	2.2%	4.9%	1.0%	2.2%
4億円以下	2	1.8%	0.0%	1.2%	1.0%	1.1%
4億円超	2	1.8%	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%
無回答	5	4.4%	2.2%	8.6%	7.8%	3.3%
総計	114	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、当期の借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が1.5ポイント増加し、「1億円以下」が8.2ポイント減少しています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

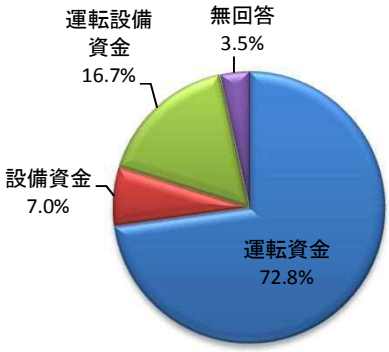
	16年10～12月期		16年7～9月期	16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	29	25.4%	34.8%	30.9%	37.3%	30.0%
7割以上	13	11.4%	6.7%	3.7%	6.9%	7.8%
7割～3割	17	14.9%	11.2%	7.4%	8.8%	12.2%
3割未満	4	3.5%	6.7%	7.4%	7.8%	4.4%
なし	47	41.2%	37.1%	39.5%	33.3%	41.1%
無回答	4	3.5%	3.4%	11.1%	5.9%	4.4%
総計	114	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が9.4ポイント減少し、「なし」とする回答が4.1ポイント増加しています。

当期借入金の目的は何ですか。

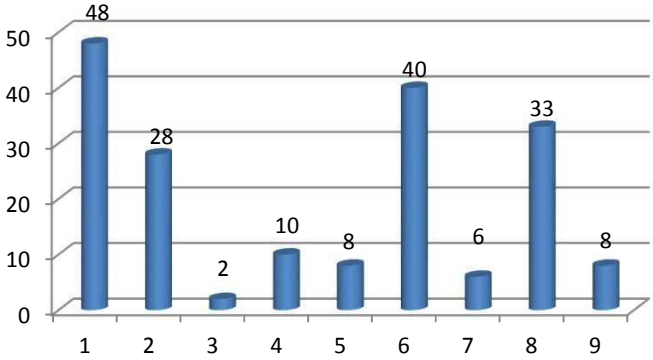
選択肢	回答数	構成比
運転資金	83	72.8%
設備資金	8	7.0%
運転設備資金	19	16.7%
無回答	4	3.5%
総計	114	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか（複数回答）。

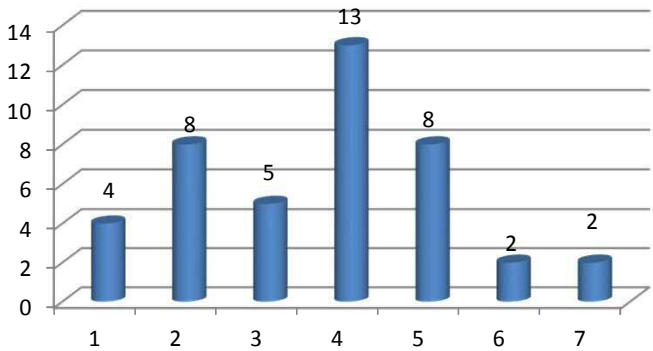
選択肢		回答数
1	***既往借入の借換え***	***48***
2	売上減少・赤字補填	28
3	過剰在庫対応	2
4	支払条件短縮対応	10
5	回収条件悪化対応	8
6	売上増加運転資金	40
7	在庫積み増し	6
8	季節運転資金	33
9	その他	8
総計		183



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上増加運転資金」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか（複数回答）。

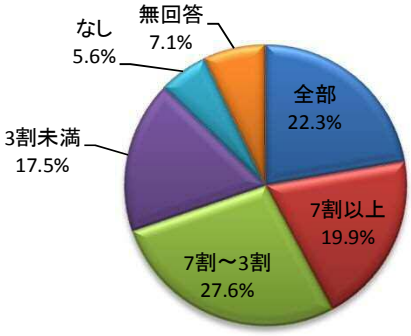
選択肢		回答数
1	新規事業	4
2	生産増強	8
3	合理化・効率化	5
4	設備老朽化に伴う入替	13
5	修理・修繕	8
6	公害防止・環境関連	2
7	その他	2
総計		42



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が一番多く、次いで「生産増強」「修理・修繕」が同数となっています。

Ⅳ. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末（16年12月末）借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

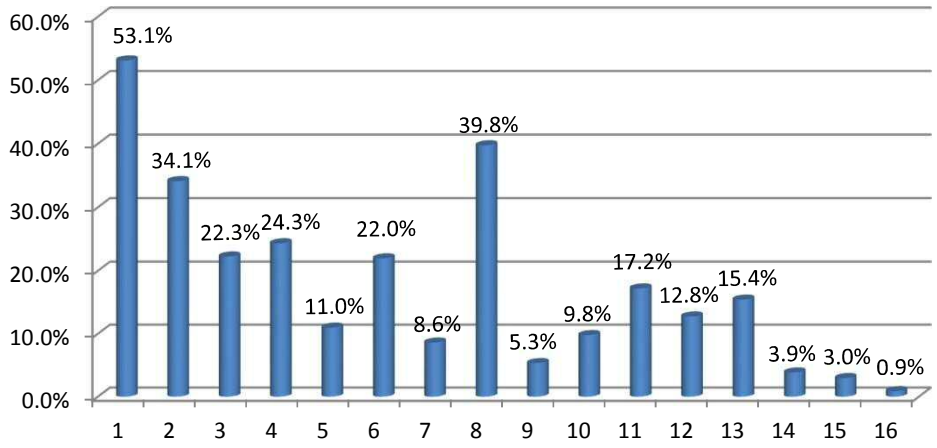
	16年10～12月期		16年7～9月期	16年4～6月期	16年1～3月期	15年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	75	22.3%	22.5%	20.5%	26.5%	23.3%
7割以上	67	19.9%	15.2%	18.7%	15.1%	16.7%
7割～3割	93	27.6%	32.6%	29.0%	27.1%	26.7%
3割未満	59	17.5%	22.5%	20.5%	19.6%	20.0%
なし	19	5.6%	4.1%	5.1%	5.4%	4.2%
無回答	24	7.1%	3.2%	6.0%	6.3%	9.1%
総計	337	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



借入総残高に占める信用保証利用の割合には、近時は大きな変化は見られません。

Ⅴ．その他（経営上の課題等）について該当する番号をご記入ください(複数回答）。

選択肢		回答数	回答割合	選択肢		回答数	回答割合
1	***売上・受注の減少***	***179***	***53.1%***	9	過剰在庫	18	5.3%
2	***競争激化***	***115***	***34.1%***	10	設備投資	33	9.8%
3	コスト高	75	22.3%	11	後継者難	58	17.2%
4	業界構造変化	82	24.3%	12	資金調達	43	12.8%
5	取引条件の悪化	37	11.0%	13	借入過多	52	15.4%
6	消費者ニーズの多様化	74	22.0%	14	為替	13	3.9%
7	技術・商品開発	29	8.6%	15	海外景気の減速	10	3.0%
8	***人材・労働力の確保***	***134***	***39.8%***	16	その他	3	0.9%



経営上の課題については、「売上・受注の減少」が最も回答割合が高く、次いで「人材・労働力の確保」、「競争激化」の順となっています。